

(松岡)

では、ただいまから大津市障害者自立支援協議会、人材育成議会の報告および今年度の新たな取り組みに関して事務局の坂本から説明をしていただきます。

お願いします。

(坂本)

事務局の坂本です。

人材育成部について報告をしたいと思います場面を共有します。

(スライド)

人材育成部が2020年の報告なんですが、2020年の頭からコロナが始まりましたもともと従来通りの対面での研修で全て予定を組んでいました。

私達もオンライン研修をしたことがなかったので、まず手探りでやり始めましたので、

2020年度は予定通りに含めなかった研修もたくさんあります。

その中で取り組めた研修について報告をします。

(スライド)

取り組めた研修まずおおつ合同審議員研修です。

これはいつもそうですけれども、できるだけ当事者の方に講師をお願いしています。

当事者の方とその方が安心してお話できる信頼関係のある支援者の方にも一緒に来ていただいて、報告をしていただくということにしています。

この取り組みは、6年前から始めていますが、小さな事業所さんが増えて、なかなか新人だけの研修に取り組めないというところも増えてきましたので、大津全体で研修をしようということで取り組んでいるものです。

だいたい30名以上の方にご参加をいただきました。

(スライド)

相談支援専門員研修も取り組むことができました。

これは法定研修を受けたとき、昨年度から法定研修がちょっと厳しくなりまして、インターバル期間の課題はなかなか難しいものになってきていますので、

そのインターバル期間と一緒に課題に取り組む研修をするということをしました。

(スライド)

共催研修ということで、大津市主催の行動障害の支援者養成研修を協賛させてもらったことと、それから虐待防止センター、農道で虐待防止研修ということを2回取り組ませていただきました。

やまびこ支援センターの作業療法士と発達心理の職員と一緒に研修をさせてもらっています。

(スライド)

昨年取り込めなかった研修があるわけですがけれども、中堅研修だったり、JJP じぶん銀行自分支弁プロジェクトの研修会とか、性的マイノリティに関する研修なんか予定してたんですけどできなかつたっていうのはあります。救命救急現場は、どうしてもオンラインにすると、人工呼吸の練習と心臓マッサージの練習とかをしないと駄目なものなので、なかなかちょっとこれも取り組めなかつたです。個人情報保護と新車の連携のあり方とか、そういうこととかもちょっとできてなかつたということがありました。

(スライド)

2020 年度はで 333 名の参加がありました。延べ人数です。その前の年が 675 名の参加だったので半分程度になってしまっているというのがあります。今年度 2021 年度は基本的にオンラインでの開催で準備して、録画による配信なんかもしながら参加者を増やしていきたいなと思って居ます。

(スライド)

新人中堅などの階層別研修、人権研修等に取り組めます。大津市全体で取り組んだ方が良いものを中心に取り組めます。コロナの感染状況がちょっと読めないので、オンライン研修は見逃し配信で準備を進めていきます。

(スライド)

新人研修を予定しております。オンラインですので 1 回 1 回ちょっと長くするのがしんどいなということがありますので、1 回 1 回を短くして、7 回に振り分けるという形にしています。退陣援助の基本とか大津の障害福祉から、障害別の支援のあり方は当事者の方に来ていただいているということになります。

(スライド)

それから今年度、これは人権研修として連続で取り組んでいます。自立支援等議会で性的虐待性被害支援プロジェクトとして取り組んでいくものなんですけれども、性的虐待や性被害の支援というのは 1 ヶ所の事業所で振り込むのが難しいものですので、専門的な知識も必要ですので、大津市で障害者自立支援協議会として 3 回連続でこれ取り組んでいこうと思います。

1 回には日本精神科のお医者さんにしていただいて、境界侵犯についてってということをお話いただいて、

そこから私達支援者と当事者との間について考えていきたいなと思います。

2回目は性暴力がもたらすトラウマの影響ということで、性被害に遭われた女性の支援団体の方から来ていただいて、お話をいただくことが予定しています。

3回目の11月にセクションハラスメントはなぜ起こるということで、そういう問題を生み出す構造ってというのは何があるんだろうというようなお話をさせていただいて、その起こらないようにするというのを大切にできるようにということで考えています。

(スライド)

後でゆっくり説明をしますが、独自の魅力発信プロジェクトというのを、自立支援協議会で今年度取り組もうと思っています。

その一つとしての福祉の正面にいる学生に学ぶというような研修会報告化や秋に考えています。

(スライド)

他にもいくつか計画をしていますが、感染状況によってグループワークなどの演習ができないということもあって、開催方法とか開催時期などを検討しているところです。

(スライド)

福祉の魅力発信プロジェクトについて

ねらいとしては障害福祉職場で働く人を受けますということ。

内容は副詞と接点のない学生にこの仕事の魅力を伝えるということになります。

(スライド)

このプロジェクト立ち上げた理由なんですけれども、

福祉にもともと興味があって福祉学科にいますっていう学生さんへのアプローチの仕方っていうのは、私達ある程度わかっているところがあるんですけれども、

福祉と接点が少ない、

けれども社会課題の解決に興味がある若い人たちにこの仕事の魅力を伝えていく必要があるかなというふうに考えました。

福祉の周辺にいる人たちが、これが魅力的だというふうに感じるのが、

私達みたいに福祉の中でずっとやってきた人には当たり前すぎて魅力だと気づかずに発信できてないようなことがあるんじゃないかなと捉えて、

福祉の周辺の人から福祉の世界がどのように見えているかを探って、アプローチの方を探っていきたいなというふうに思っています。

(スライド)

それからもう一つ、福祉の関係人口を増やすということで、このソーシャルワークラボさんというところの取り組みを報告書に県から書いてあったんですけども、福祉障害福祉も就職する人だけでなく、じゃあ福祉と関係している人を増やしていくということ、自スーパーで駅で本屋で…
そういう人たちが増えていくことが障害のある人の暮らしやすさに繋がっていくのではないかなという、そういう人たちにも魅力を発信していくということ、とても大事なんじゃないかなというふうに思います。

(スライド)

福祉の魅力発信プロジェクトで何をして具体的にじゃあ何をしていくんですかということで、大きく二つ考えています。

一つ目はアンケート調査の実施です。

学部学科かかわらずアンケートします。

福祉の世界日本からはからどのように見えているのか、どのようにアプローチしたらいいかということを考えてます。

今ですね3の段階まで行ってます。

アンケートの設計終わって予備調査終わって、

3ですねアンケートを広く実施している最中です。

自立支援協議会のページにリンクが貼ってありますので、

よかったら学生が身近にいるという方は協力を依頼していただけたらなと思います。

大津市内の事業所に向けて結果報告会をして役立ててもらえたらなというふうに思っています。

(スライド)

これ今まだ途中経過なんですけど、第87人の方がアンケートに答えてくれていて、障害福祉の仕事を選択肢に入れてますかという質問で、

「考えたことがない」という他の44%の層のところ、は、少し難しいとして、

「考えたことがあるが選択肢から排除した」という人が11.5%。

「福祉も選択肢の一つでもある」という人と合わせてこちら辺でね半分ぐらいいらっしゃるんですけど、このあたりの人にしっかり魅力を伝えていく発信していくってということが大事なんじゃないかなというふうに思います。

インタビューもこの後、させてもらおうと思ってるんですけど、

考えたことあるけど選択肢から排除した人は

何が選択肢から排除することになったのかということなんかも聞いてみたいなと思います。

(スライド)

あなたの身近に障害のある方おられますかみたいなアンケートの中で聞いてるんですけど、55%の人がいないっていうふうに、こう答えてらっしゃって、
そうなのかって。やっぱり私達は、
毎日いっぱい障害のある人と接する生活をしているわけですけど、
55%くらいの方が障害のある方は身近にいないことになるんだなっていうのは、
なかなかのことだなと思いつつ見えています。
これも、集計ができたらしっかりお答えできるかなと思います。

こういう福祉の周辺にいる学生に学ばってというの秋に取り組みたいなと思っています。

(スライド)

それからもう一方は学生および媒体を使つての発信ということで、
福祉の周辺にいる人の立場で、生涯福祉事業所で働く人を取材するということに取り組んでもらおうかなと思ってます。
で、取材した模様は何らかの媒体等に掲載して、
学生の立場から福祉職場の知りたい情報を得られるような内容で、事業所の立場からは、
「学生さん」って何を知りたいのかなんてというのがわかるというような内容ができたかなと思ってます。

福祉の周辺の人々の定義というのは、
社会課題社会の課題解決に興味があるとか、環境問題とかSDGsの問題とかに関心あるけど、
ガッツリ福祉の間に入って関わってるわけじゃないというような人たちに、
この魅力を伝えていきたいなというようなことです。

(スライド)

取材に行きますので、皆さんご協力いただけたらなって。
若手をご紹介ください！
ということなんですけど、取材に行く人を紹介しようと思います。

大澤健（おおざわけん）さんです。。
さきほど紹介したソーシャルワーカーズラボなどで活動されています。

自己紹介をどうぞ。

大澤健と言います。
今年の3月に大学を卒業しまして、
1年間ソーシャルワーカーズラボでコーディネーターとして活動しているんですけども、

大学では文学部で社会福祉とはかかわりのない勉強をしてっていたんですけども、福祉に興味を持つようになって、いわゆる福祉の周辺から福祉に入ってきたその目線を持って皆さんのことを紹介していけたらいいなと思っているのでぜひ、取材に応えていただけたらと思います。よろしくお願いします。

これで人材育成が終わり報告は終わります。
ありがとうございます。